平成27年度病害虫発生予報第8号（11月予報）

＜今月のコラム＞　・冬春期野菜の定植時および生育初期の病害虫防除対策
・沖縄地方の温暖化の現状

＜お知らせ＞　イネヨトウの性フェロモントラップにおける誘殺数の推移について以下URLに掲載しています。
http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojo/documents/ineyo-phero.html

今月のトピックス

ハリガネムシ （さとうきび）

和名：オキナワカンシャクシコメツキ　学名　：*Melanotus　okinawensis*
和名：サキシマカンシャクシコメツキ　学名　：*Melanotus　sakishimensis*



オキナワカンシャクシコメツキ幼虫


茎への喰入痕


食害された芽子


食害された苗


幼虫の食害による不発芽

生態と被害

本種は1世代2～3年と非常に長く、幼虫はさとうきびの地下芽子を食害するため不発芽や不萌芽の原因となる。幼虫は地下で芽や茎を渡り歩くため1頭当たりの被害は比較的大きい。新植ほ場では母茎よりも小さい分けつ茎に芯枯症状が多く見られることが多い。喰入痕（上段中）はメイチュウ類のものとは異なり、新しい被害茎であればメイチュウ類の喰入痕と見分けることが出来る。

発生の多い地域や過去に被害がみられたほ場は、植付時および株出管理時に粒剤を処理する。更新ほ場では数回砕土し、幼虫の密度低減を図る。緑肥を植える場合はイネ科植物を避ける。

http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojo/index.html

平成27年10月30日
沖 縄 県 病 害 虫 防 除 技 術 セ ン タ ー